

がつけっせん こくてつとうそうしょうり せんそうほうふんさい あべせいけん だとう
9 月決戦で国鉄闘争 勝利と戦争法粉碎・安倍政権打倒をかちとろう

じえいせんそう さんせい にほんきょうさんとうゆる
「自衛戦争」賛成の日本共産党許さず

がつあん ぼ こっかいけっせん かくめい む いっせんまん にん にほんろうどうしゃかいきゅう
7 月安保国会決戦をもって革命に向かう 1 千万人のうねり、日本労働者階級
じんみん こんていてき けっ き せき き はじ かいきゅうじょうせい げきへん
人民の根底的な決起が堰（せき）を切ったように始まり、階級情勢は激変した。
ひ ばく ねん ひろしま ながさき たたか れきし てき こうよう せんめい
被爆 70 年の 8・6 広島―8・9 長崎の闘いの歴史的な高揚は、そのことを鮮明
しめ せんそうほうあん そ し あべ たお こえ じょうせい かく
に示した。「戦争法案阻止・安倍倒せ！」の声がとどろき、ゼネスト情勢・革
めいじょうせい きゅうそく せいじゆく せんそう かくめい ま こう と じ だい とうらい
命情勢が急速に成熟してきている。戦争か革命かを真っ向から問う時代が到来
している。安倍と権力 中枢による 障害者就労支援事業所「オープンスペー
まち だんあつ ふんさい がつ じゅうよつ か ふたり なか ま だっかん どうろうそうれん
ス街（まち）」への弾圧を粉碎し（8 月 1 4 日に 2 人の仲間を奪還）、動労総連
ごうけんせつ せんそうほうあんふんさい がつこうぼう がつけっせん もうぜん けっ き
合建設と戦争法案粉碎の 8 月攻防と 9 月決戦へ、猛然と決起しよう。

いっせんまん にん けつごう
1 千万人と結合へ

ひろしま ながさき たたか れきし てきぜんしん こうよう しめ いっせんまん にん
8・6 広島―8・9 長崎の闘いの歴史的前進と高揚が示したことは、1 千万人
むす むね かいきゅうじょうせい とうらい かいきゅうてきろうどううんどう は めいはく たたか しゅ
と結びつく胸おどる階級情勢の到来だ。階級的労働運動派が明白に闘いの主
りゅう は こうぜん とうじょう おお いま む し
流派へと公然と登場してきている。多くのマスコミも、今やそれをまったく無視
できなくなっている。

たいきょく あべ そこし き き しんこう だんがい あらし う ひろしま
だがこの対極で、安倍の底知れぬ危機が進行している。弾劾の嵐を受けて広島
ながさき に かえ あべ がつなぬ か せん ご ねんだん わ がつ じゅうよつ か かく
・長崎から逃げ帰った安倍は、8 月 7 日、「戦後 70 年談話」を 8 月 1 4 日に閣
ぎ けつてい ひょうめい あべ しょうたい だ こじんてきだん わ ろう
議決定すると表明した。安倍の正体をむき出しにした「個人的談話」では、労
どうしゃじんみん いか ばくはつ せい ふ しはいかいきゅう き き ぶんれつ こくさいそうとうせん
働者人民の怒りのさらなる爆発と、政府・支配階級の危機と分裂、国際争闘戦

がいよいよ^{げき か}激化するのは不可避^{ふ か ひ}だからだ。

さらにこの「70^{ねんだん わ}年談話」を受け、安倍^{あ べ}と極^{きよく う}右路線^{ろ せん}で一体^{いったい}の自民党政調会^{じ みんとうせいちょうかい}長
・稲田^{いな だ}朋美^{とも み}が、東京^{とうきょう}裁判^{さいばん}やGHQ^{れんごうこくぐんそう}（連合軍総司令部^{し れい ぶ}）による占領^{せんりょう}政策^{せいさく}を検証^{けんしょう}
するための党内^{とうない}機関^{き かん}を発足^{はつそく}させる。安倍^{あ べ}らは米帝^{べいてい}との矛盾^{む じゅん}・対立^{たいりつ}も辞^じさず、む
しろ対米^{たいべい}対抗^{たいこう}的に日帝^{にっしん}自身の戦争^{せんそう}政策^{せいさく}・戦争^{せんそう}国家^{こっ か}化^かを推進^{すいしん}しようとしている。8
月^{がつ}5^{いつ}日の参院^{さんいん}特別^{とくべつ}委^いでは、防衛^{ぼうえい}相^{しやう}・中谷^{なかた}元^{げん}が、戦闘^{せんとう}中^{ちゆう}の他国^{た こく}軍^{ぐん}に対する支援^{し えん}と
して行^{おこな}う弾薬^{だんやく}の輸送^{ゆそう}について、「核兵器^{かくへい き}の運搬^{うんぱん}も法文^{ほうぶん}上^{じやう}は排除^{はいじょ}していない」と
公言^{こうげん}している。

3・11^{ふくしまだいいちげんばつ じ こ}福島第一^{つきめいにち}原発^{がっ}事故^{にち}の「月命日^{せんだいいちげんばつさい か どう}」である8月^{きやうこう} 11^{だい じ こ}日には、川内^{ぞくはつ}原発^{ふくしまだいいちげんばつ}再稼働^{ろうどうしや}をも強行^{し ぼう じ こ}した。J Rでは大^お事故^{あ べ せいけん}が続^ひ発^おし、福島^{あ べ}第一^{あ べ}原発^{あ べ}でも労働^{らうどう}者の死亡^{し ぼう じ こ}事故^{し ぼう じ こ}
が起こ^おっている。すべてが安倍^{あ べ}政権^{せいけん}のもとで引き起^{ひ き}こされてお^おり、安倍^{あ べ}はどん
どん^{ぼ けつ}墓穴^ぼを掘^ほっている。

1千万^{いっせんまんにん}人の怒^{いか}りと決起^{けつ き}で安倍^{あ べ}を打倒^{だ とう}し、戦争^{せんそう}法案^{ほうあん}を阻止^{そ し}する時^{とき}だ。「戦争^{せんそう}絶対^{ぜったい}
反対^{はんたい}！許^{ゆる}すな改憲^{かいけん}！1000^{まんしやうめい}万署名^{ぜんこく}」を全国^{ろうどうくみあい}の労働^{ち いき}組合^{がいとう}と地域^{もうぜん}・街頭^{すい}で猛然^{はんたい}と推
進^{しん}し、戦争^{せんそう}・改憲^{かいけん}の破滅^{はめつ}の道^{みち}にのめり込^こむ安倍^{あ べ}を国会^{こっかい}会期^{かい き}末^{まつ}を待^またず9月^{がつ}決戦^{けっせん}の
爆発^{ばくはつ}で打倒^{だ とう}しよう。

あ べ む じゅん は たん
安倍^{あ べ}の矛盾^{む じゅん}と破綻^{は たん}

あ べ あん ぽ ほうせい ろんり む じゅん は たん お つ いま ちょうせんはんとうゆう
安倍^{あ べ}は安保^{あん ぽ}法制^{ほうせい}をめぐる論理^{ろんり}矛盾^{む じゅん}と破綻^{は たん}に追^おい詰^つめられ、今^{いま}や「朝^{ちやう}鮮^{せん}半島^{はんとう}有^{ゆう}
事^じ」に加^{くわ}え、対^{たい}中国^{ちゆうごく}・北^{きた}朝鮮^{ちやうせん}の「脅^{きやう}威^い論^{ろん}」の扇動^{せんどう}で野党^{や とう}を路綫^{ろ せん}的に総^{そう}屈^{くつ}服^{ふく}さ
せ、法案^{ほうあん}成立^{せいりつ}へ強^{きやう}行^{こう}突^{とつ}破^ぱしよう^ばとあがいている。だがすべての帝国^{ていこく}主義^{しゅぎ}の戦争^{せんそう}
は侵略^{しんりやく}戦争^{せんそう}であり強盗^{ごうとう}戦争^{せんそう}だ。

しかしスターリン主義の日本共産党は、愛国主義と「自衛戦争」賛成を振りかざし極悪の役割を果たしている。「自衛隊活用」論を露骨に展開した志位和夫委員長の記者会見は、共産党が政権に入ったら自衛隊も警察も監獄も使い、労働者人民の闘いを血の海に沈めるという宣言だ。彼らは日帝の最後の救済者だ。ナチスとも手を組み、ファシストと戦う勢力を背後から襲撃し革命を圧殺した、1930年代型の武装反革命として、再び登場しようとするスターリン主義を断じて許すな。

スターリン主義との大党派闘争にうちかち、「朝鮮半島有事」を振りかざす米帝・米軍と日帝・自衛隊の朝鮮侵略戦争を、日韓米の労働者国際連帯で絶対に阻止しよう。

9月決戦は最大の国会決戦である。それと同時に最大の国鉄決戦でもある。国鉄決戦を基軸に階級的労働運動を白熱的に推進し、労働組合の拠点建設でゼネスト、そしてプロレタリア世界革命に向かって突き進もう。

新潟で動労総連合

7月30日、動労総連合・新潟がついに結成された。この革命的快挙に福島が続こうとしている。動労総連合建設は、国鉄労働運動内にストライキを、ゼネストを断固打ち抜ける労働組合をつくり出す闘いだ。さらに東京と全国に動労総連合の旗をうち立て、巨万の労働者と結合しよう。

労働組合で団結しストライキを闘うことが戦争を阻止する最大の道だ。動労千葉を先頭とする階級的労働運動派が、国鉄分割・民営化絶対反対を貫き、連合の完成を破綻させ、日帝の戦争・改憲攻撃を阻んできた。労働運動を解体できな

ければ戦争も改憲もできない。そういう階級的力関係を日帝・新自由主義に強^{きようせい}制^{せい}してきた。動労千葉鉄建公団訴訟^{どうろう ちば てっけんこうだん そしょう}の6・30最高裁上告棄却^{さいこうさいじょうこく ききやくけつてい}決定の大反動^{だいはんどう}は、逆に日帝の戦争・改憲攻撃が革命情勢^{ぎゃく について せんそう かいけんこうげき かくめいじょうせい う だ なか}を生み出している中で、1047名解雇撤回^{かい こてっかい たたか め}を闘い抜くことの巨大な意義^{きょだい いぎ あき}を明らかにしている。

ここには国鉄闘争30年の勝利^{こくてつとうそう ねん しょうり そうかつ ねん}の総括がある。2010年の4・9「政治和解^{せいじ わかい}」の反革命との決着^{はんかくめい けつちやく}はついた。「解雇撤回を貫く動労千葉は玉砕主義^{ぎよくさいしゅぎ}だ」という悪罵^{あくば}を吐いて逃亡^{は とうぼう}した体制内勢力^{たいせいのうせいりよく}は、惨めに破産^{みじ はさん}した。1047名解雇撤回^{めいかい こてっかい}闘争はいよいよJRを迫^{とうそう お}いつめる。この闘い^{たたか}を先端^{せんたん}に、解雇撤回闘争への全産別^{かい こてっかいとうそう ぜんさんべつ}での総決起^{そうけつき}を切り開こう。

JR体制は崩壊^{たいせい ほうかい}している。この間、首都圏^{かん しゅとけん}で大事故^{だいじ こ ぞくはつ}が続発^{がつよっか}している。8月4日には京浜東北・根岸線^{けいひんとうほく ねぎしせん}で電力供給^{でんりよくきょうきゅう}の架線^{かせん}が切れ、大混乱^{き だいこんらん}を引き起こした。さらに8日、9日と新幹線^{しんかんせん}での事故^{じ こ}が続いた。新幹線での事故は想像^{そうぞう}を絶^{ぜつ}する大惨事^{だいさんじ}を引き起こす。それでも安倍・葛西とJRは外注化^{あべ かさい がいちゅうか}・非正規職化^{ひせいきしよくか}で労働者^{ろうどうしゃ}を痛めつけ、団結^{いた だんけつ}を破壊^{はかい}して、安全崩壊^{あんぜんほうかい}に拍車^{はくしゃ}をかけようとしている。

労働組合で団結^{ろうどうくみあい だんけつ}リストを闘^{たたか}うことこそ、殺人企業^{さつじん きぎょう}を打ち倒^{う たお}し戦争^{せんそう}を阻止^{そし}するみち道だ。

世界大恐慌^{せ かいだいきょうこう}は「恐慌の中の恐慌^{きょうこう なか きょうこう}」の局面^{きょくめん}に突入^{とつにゅう}し、大恐慌^{だいきょうこう}が戦争^{せんそう}に転化^{てんか}する情勢^{じょうせい}が日帝・安倍とブルジョアジー^{について あべ だい}を第2の国鉄分割^{こくてつぶんかつ}・民営化攻撃^{みんえい か こうげき}に駆^かり立てている。これは全産別^{ぜんさんべつ}への全面攻撃^{ぜんめんこうげき}となり、さらに非正規職労働者^{ひせいきしよくろうどうしゃ}の闘い^{たたか}を圧殺^{あつさつ}する激烈な階級戦争^{げきれつ かいきゅうせんそう}となる。

第2分・民と闘う

第 2 の分割・民営化攻撃による J R の大再編は、鉄道的全業務を別会社に移し、ローカル線を切り捨て、J R 本体は形式的に鉄道施設や株式を保有するだけの会社にしてしまう。千葉ではこの 7 月、C T S（千葉鉄道サービス）が J E S S（J R 東日本ステーションサービス）に再編・分割された。次は構内・検修部門の J E T S（J R 東日本運輸サービス）への再編が狙われ、J E T S への転籍が通告される。駅業務を J R 本体から切り離すことは車掌・運転士の外注化へと行き着く攻撃だ。

日帝・安倍一葛西は、国家戦略の成否をかけて動労千葉・動労水戸—動労総連合の解体に全力をあげてくる。右翼が動労千葉攻撃を強めている。J R 東日本は、外注化・強制出向から 3 年が経過する 10 月 1 日に、新たな外注化と組織破壊攻撃を策動し、11 月 1 日には千葉運転区廃止を強行しようとしている。

動労水戸には、福島原発事故の避難住民の 9・5 檜葉町への帰還強制と一体で、常磐線全線開通攻撃による被曝労働を強制しようとしている。動労千葉・動労水戸—動労総連合とともに 9 月決戦に総決起しよう。

大恐慌は、中国経済のすさまじい減速をはじめこの夏から秋へさらに激化する。世界的な株価バブルと債券（国債）バブルの崩壊も不可避だ。日帝経済の破滅も起こる。この危機こそが日帝・安倍を戦争・改憲に駆り立てている。ロシア革命 100 年の 2010 年代中期階級決戦は、大恐慌・戦争をゼネストとプロレタリア世界革命の勝利に転化する闘いだ。革命情勢の急速な接近は、階級的労働運動派が少数派から多数派へと飛躍することを切実に求めている。

全学連を先頭に、8・20—9・3 安保国会闘争に立とう。全学連大会の歴史的 success から全国大学ストに突き進もう。最高裁棄却決定弾劾 8・23 報告・決起集会と、9・5 檜葉町帰還攻撃と被曝労働強制に反撃する 8・29 いわき闘争

に^{けっしゅう}結集しよう。獄中^{ごくちゅう} 41 年^{ねん}の星野文昭同志^{ほしの ふみあきどう し だっかん}奪還へ、9・6^{とくしまけい む しょほう い とうそう}徳島刑務所包囲闘争
に^{ぜんこく}全国から^{そうけつ き}総決起しよう。